



ハツカリタイムズ

2026 July No.07



2026年 新入社員

土木部 2名

女性施工管理者の活躍が入社の後押しに



大学で開催される企業説明会に、初雁興業が毎年参加していました。地元近くに転勤がないことに加え、大学の先輩が複数活躍していることが、興味を持った大きな理由です。また、女性施工管理者の先輩が活躍されていることも、大きな魅力でした。もともとは宮大工を目指して大学で木造建築を専攻していました。しかし、自分の適性を考えたことや、周りからのアドバイスを受けて進路を見つめ直し、施工管理という仕事に興味を持つようになりました。そんな中、初雁興業では女性施工管理者が実際に活躍していることを知り、自分も挑戦してみたいという気持ちが強くなりました。

初雁興業では配属後に先輩社員と2～5人のチームで仕事を進めると聞き、安心感を持ってました。インターンシップでは土木部と建築部の現場を見学し、若手社員の皆さんがいきいきと働く姿がとても印象に残りました。

実際に会社の雰囲気を肌で感じ、「ここで成長していきたい」と思えたことが、入社の決め手になりました。

先輩方の支えが成長の原動力



チームの先輩方はご自身の仕事で忙しいにもかかわらず、話しやすい雰囲気をつくってくださるので、安心して質問することができます。特に、新入社員の教育担当であるマネージャーは、ほぼ毎日のように現場へ足を運び、丁寧に指導してくださいます。「まずは自分で考えて行動すること」を大切にし、分からないことは先輩に相談しながら進められるため、学んだことを実践できる環境だと感じています。

1年後には後輩も入社してくるので、私も先輩方のように後輩を支えられる存在になりたいです。



警察官志望から施工管理へ



大学では警察官を目指して法学部に進学しました。しかし、能登半島の災害発生時にボランティア活動へ参加し、被災地の現状を目の当たりにしたことで、建設業が社会において果たす役割の大きさを実感しました。その経験から、街づくりや地域の復興に携わる仕事に就きたいという思いが強くなりました。

建設業の中でも施工管理を志望したのは、大学時代に弁論大会でチームリーダーを務めたり、アルバイト先でもリーダーを任されたりする機会が多かったためです。工事全体を把握しながら工程を組み立て、現場を円滑に進めていく施工管理の仕事であれば、これまで培ってきた経験や強みを活かせると考えました。

また、初雁興業を選んだ理由は、文系出身者も積極的に採用し、多くの社員が活躍していることです。さらに、資格取得のサポート体制が充実しており、一人ひとりをしっかり育てる環境が整っている点にも大きな魅力を感じました。

『完成したら遊びに来ます！』

その一言が励みに



入社して3ヵ月が経ち、現在は公園造成工事に携わっています。公園造成工事ということもあり、学校帰りの小学生から「完成したら遊びに来ます！」と嬉しそうに声をかけてもらったことがありました。その言葉を聞いたとき、自分たちの仕事が地域の皆さんの楽しみにつながっていることを実感し、大きなやりがいを感じました。

入社後初めての現場でこのような経験ができたことは、今後の大きな励みになります。これからも一つひとつの現場で学びながら成長していきたいと思います。次の現場も楽しみです！



国土交通省関東地方整備局 優秀工事技術者表彰

受賞者 岡部友樹(おかべともき) 土木部 2018年入社



R 4 高麗川右岸萱方外災害復旧工事

萱方工区では堤防利用者への安全対策、新ヶ谷工区では50万V送電線を考慮したクレーン作業の安全対策を徹底し、無事故・無災害での施工を目指しました。

最も苦労したのは、仮設計画がほぼ固まった段階で稀少植物が確認され、計画をゼロから見直す必要が生じたことです。また、施工箇所の湧水対策では、周辺住民の井戸水への影響もあり、地域の皆さまへの対応にも細心の注意を払いながら工事を進めました。一方で、ICT施工や3D-CADなどの新しい技術を取り入れたことは、大きな学びとなりました。今後も新しい技術を積極的に取り入れ、その経験を若手技術者にも伝えていきたいと考えています。

今回の工事は、施工条件の異なる2つの工区を同時に進める初めての経験でしたが、多くの方々の支えのおかげで無事故・無災害で完成し、このような賞をいただくことができました。

これからも技術を磨きながら、若手技術者の育成にも力を入れ、建設業の発展に貢献していきたいと思っています。そして、この工事に携わってくださったすべての皆さまに心から感謝しています。特に、「自分のやりたいようにやってみろ」と背中を押してくれた先輩の存在が、大きな支えとなりました。



萱方工区



着工前



河床掘削・水替え状況



連節ブロック設置状況



完成



新ヶ谷工区



着工前



床付け状況



根固めブロック設置状況



完成

入社2年目～5年目の若手社員に聞きました！ 若手社員が語る“成長の軌跡”



Q1 入社1年目で「成長したな～」と感じた瞬間は？

“指示を待つのではなく、自分で考えて行動できるようになったとき”

“現場の流れを理解し、次に必要な準備を先回りして考えられるようになった瞬間”

“現場の前段取りや業者の手配など、自分から動けるようになったとき”

Q2 現在どんな役割を任されていますか？

【入社2年目】写真管理や安全書類の確認、現場に必要な書類・掲示物の作成など

【入社3年目】新入社員の手本となるよう意識しながら仕事に取り組んでいる

【4年目】現場の安全管理や職人さんとの打ち合わせなど、現場全体管理など

Q3 成長できたきっかけ・理由は何だと思いますか？

“上司からの問いかけを通して、自分で考える力が身に付いた”

“失敗を経験し、施工方法や現場の流れを事前に確認する習慣が身に付いた”

“先輩に教わるだけでなく、自分で挑戦する経験が成長につながった”

今回は入社2年目～5年目の若手社員にアンケートを実施し、その中から一部をご紹介しました。それぞれ成長のきっかけや経験は異なりますが、一人ひとりが着実に成長し、現場で活躍している様子が伝わってきました。

SNSを通して、弊社のことをたくさんの方に知っていただきたいと思います、採用情報、スタッフインタビュー、研修の様子、初雁興業の取り組みなどを定期的に発信しています。
お気軽にフォロー＆いいね・リポストをよろしくお願いします。



Instagram・Xは毎週 月・水・金曜 更新中！